

天竺徳兵衛







千葉姫侍宵



白山重忠





あんならぬ  
いんちん手  
のりあつてうらな  
をさるゝあかん  
づらわりのあえま  
らんまはひん  
たのしみのあま  
つてうらな  
あんならぬ  
いんちん手  
のりあつてうらな  
をさるゝあかん  
づらわりのあえま  
らんまはひん  
たのしみのあま  
つてうらな



あんならぬ  
いんちん手  
のりあつてうらな  
をさるゝあかん  
づらわりのあえま  
らんまはひん  
たのしみのあま  
つてうらな



あんならぬ  
いんちん手  
のりあつてうらな  
をさるゝあかん  
づらわりのあえま  
らんまはひん  
たのしみのあま  
つてうらな

Handwritten text in vertical columns at the top of the left page, likely a preface or commentary.



Handwritten text at the bottom of the left page, possibly a signature or additional commentary.

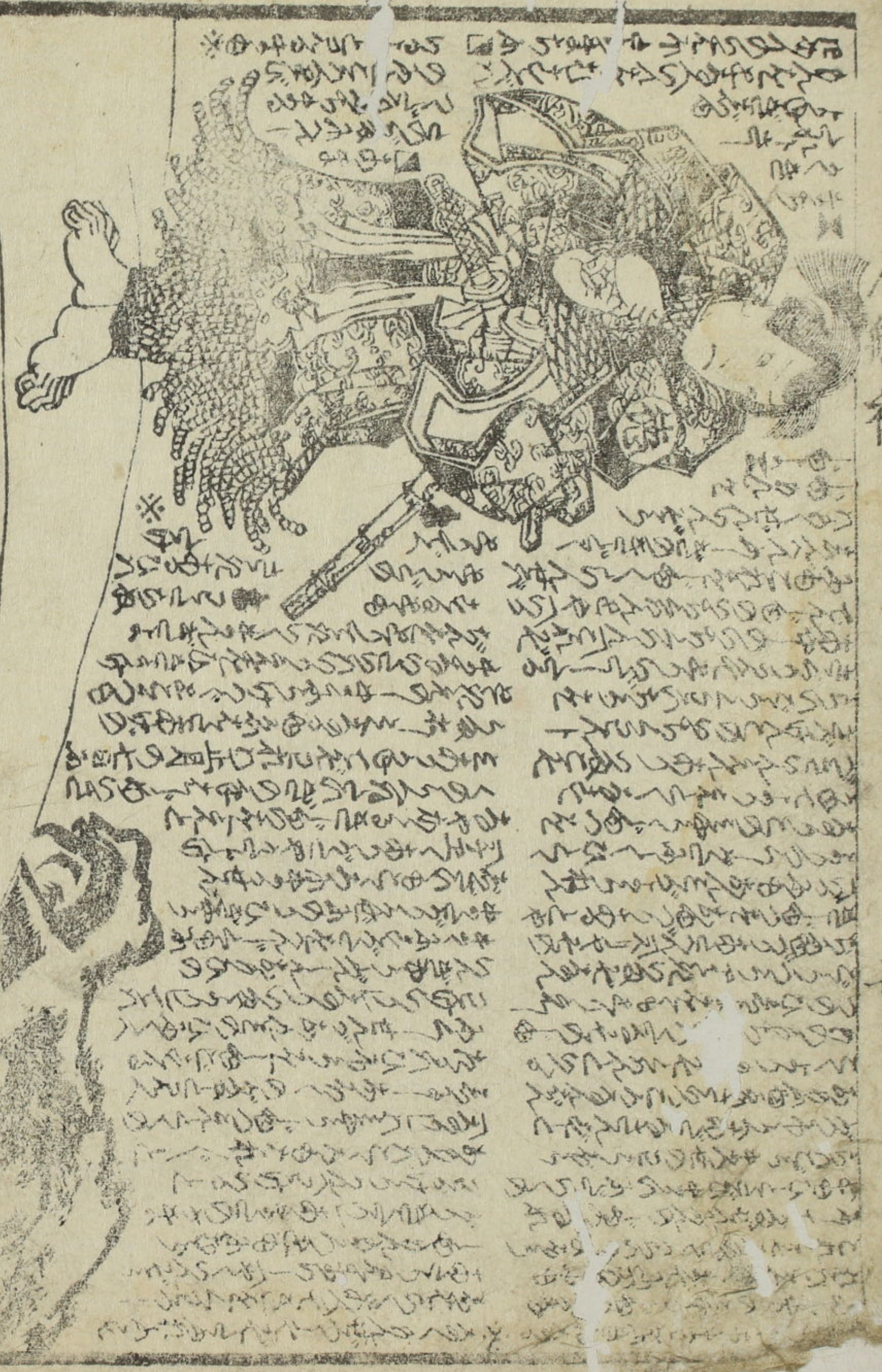
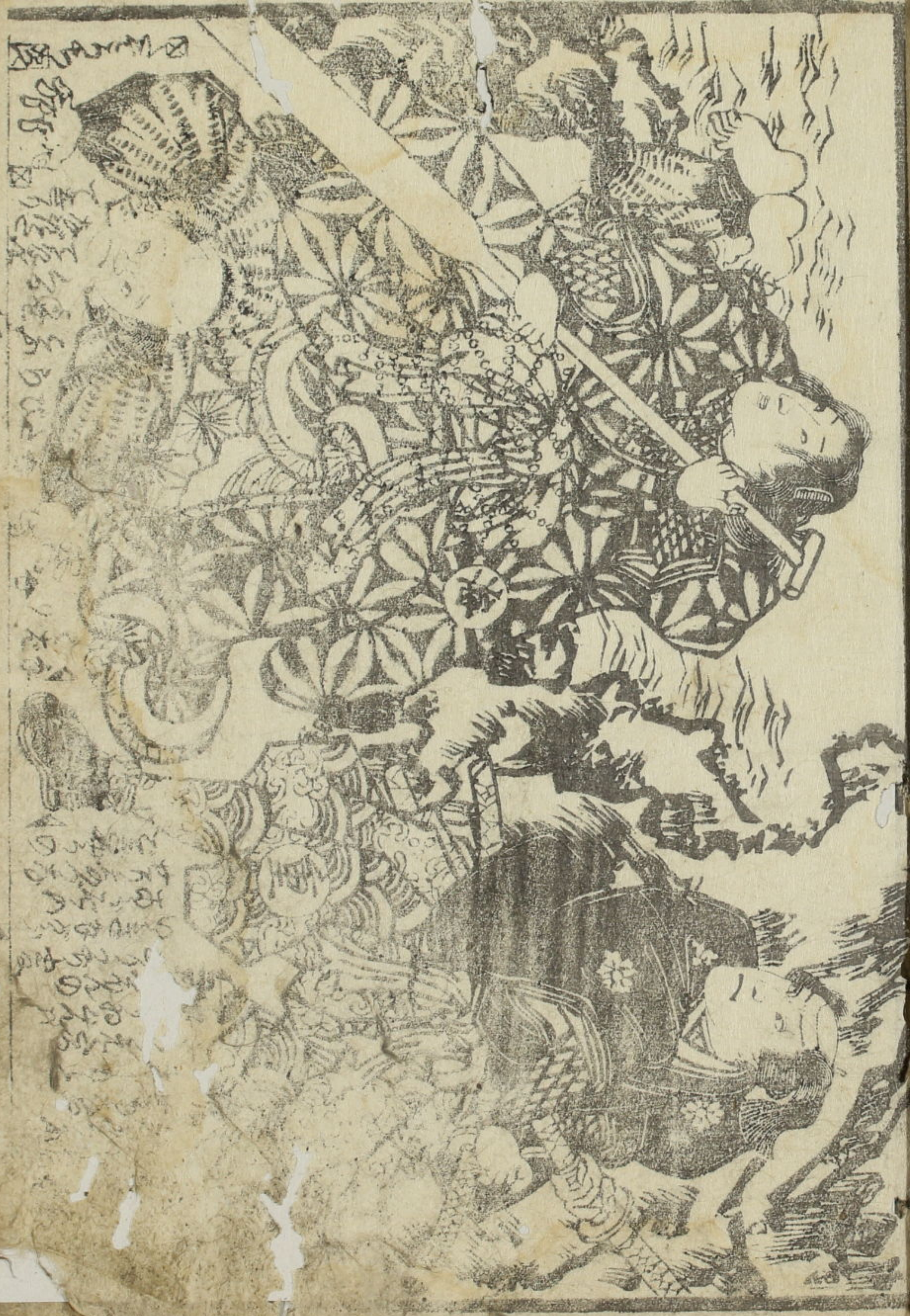
Handwritten text in vertical columns at the top of the right page, continuing the commentary or preface.



Handwritten text at the bottom of the right page, possibly a signature or additional commentary.

















宗  
徳

宗  
徳



徳











あつたはるのうらみなりあは  
ちを二箇のあつたをちけんさつ  
あつたはるのうらみなりあは  
ちを二箇のあつたをちけんさつ  
あつたはるのうらみなりあは  
ちを二箇のあつたをちけんさつ

あつたはる  
ちを二箇の

あつたはる  
ちを二箇の  
あつたはる  
ちを二箇の



あつたはる  
ちを二箇の  
あつたはる  
ちを二箇の

入島不



國  
徳  
補  
則

栗久の如く物も夜もか

か小枝を文系小つとる如く

杖を偷まし 杖を止 杖を

杖を止 杖を止 杖を止 杖を止

杖を止 杖を止 杖を止 杖を止

杖を止 杖を止 杖を止 杖を止

杖を止 杖を止 杖を止 杖を止

杖を止 杖を止 杖を止 杖を止

杖を止 杖を止 杖を止 杖を止

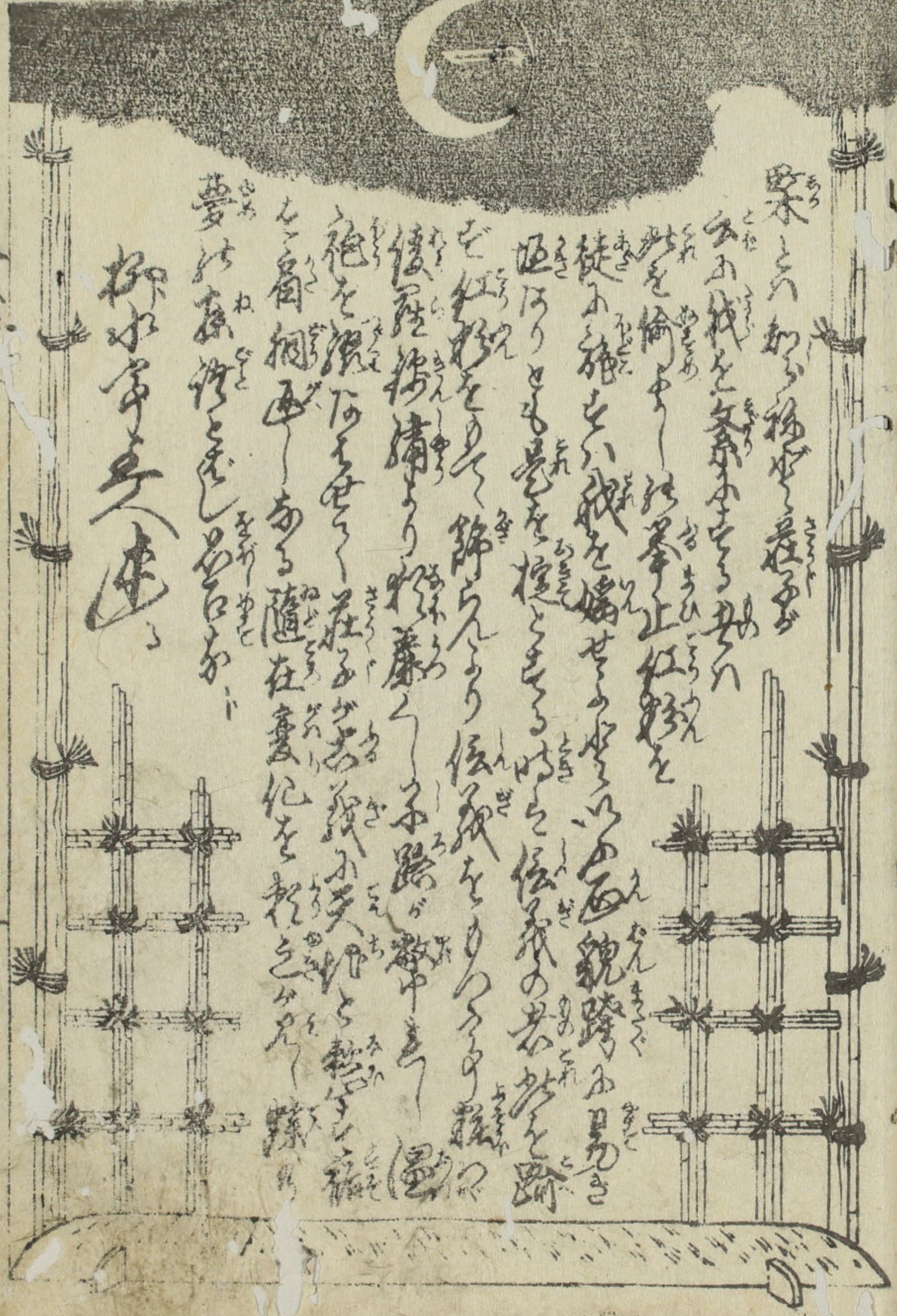
杖を止 杖を止 杖を止 杖を止

杖を止 杖を止 杖を止 杖を止

杖を止 杖を止 杖を止 杖を止

夢は 夢は 夢は 夢は

柳水亭主人





手越香瀬川  
頼朝息女姫



白浪檢校  
大立徳兵衛

富山左司





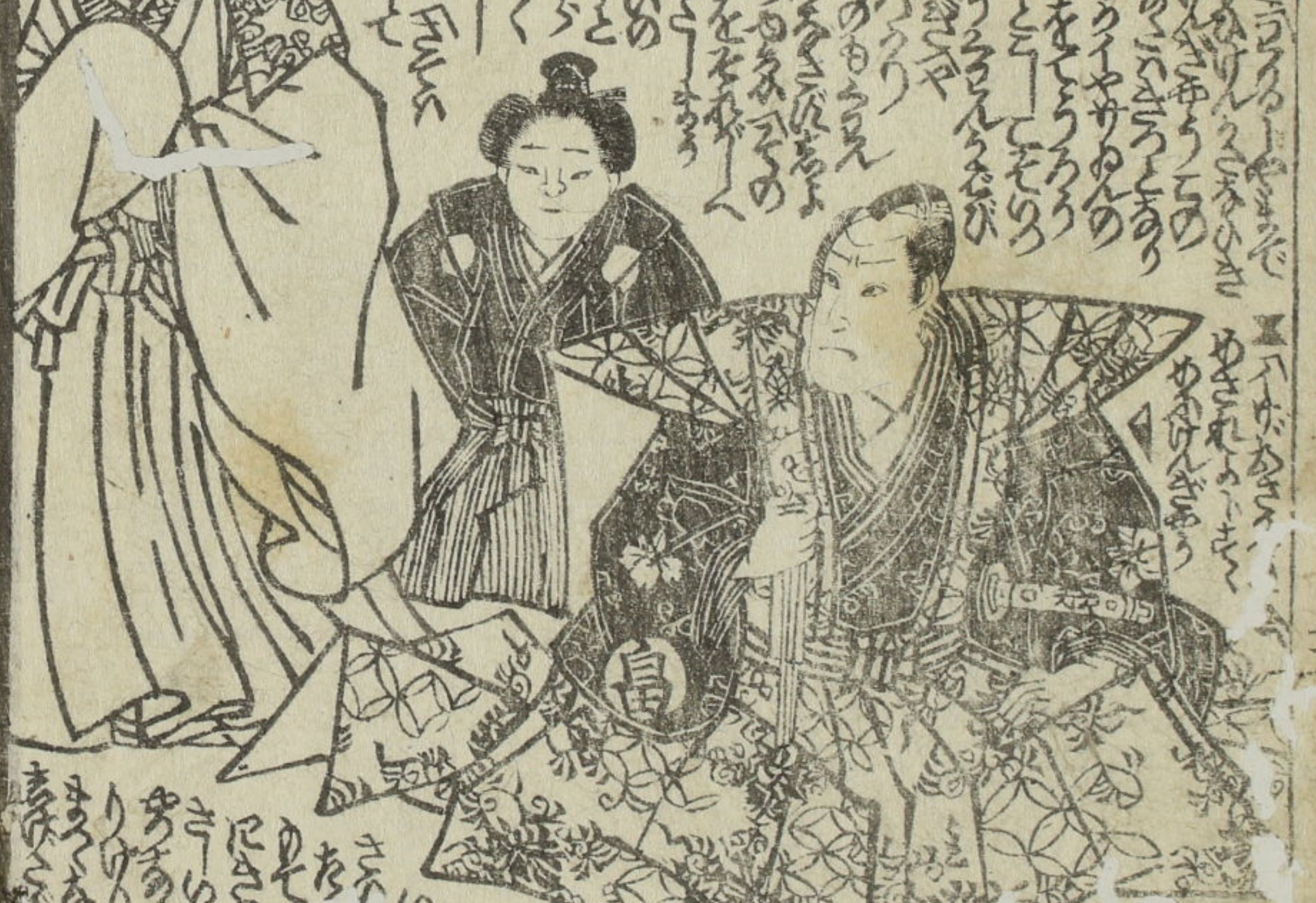


Handwritten text in vertical columns at the top of the left page, likely serving as a preface or commentary for the scene below.



Handwritten text in vertical columns at the bottom of the left page, continuing the narrative or commentary.

Handwritten text in vertical columns at the top of the right page, providing context for the scene.



Handwritten text in vertical columns at the bottom of the right page, concluding the narrative or commentary.







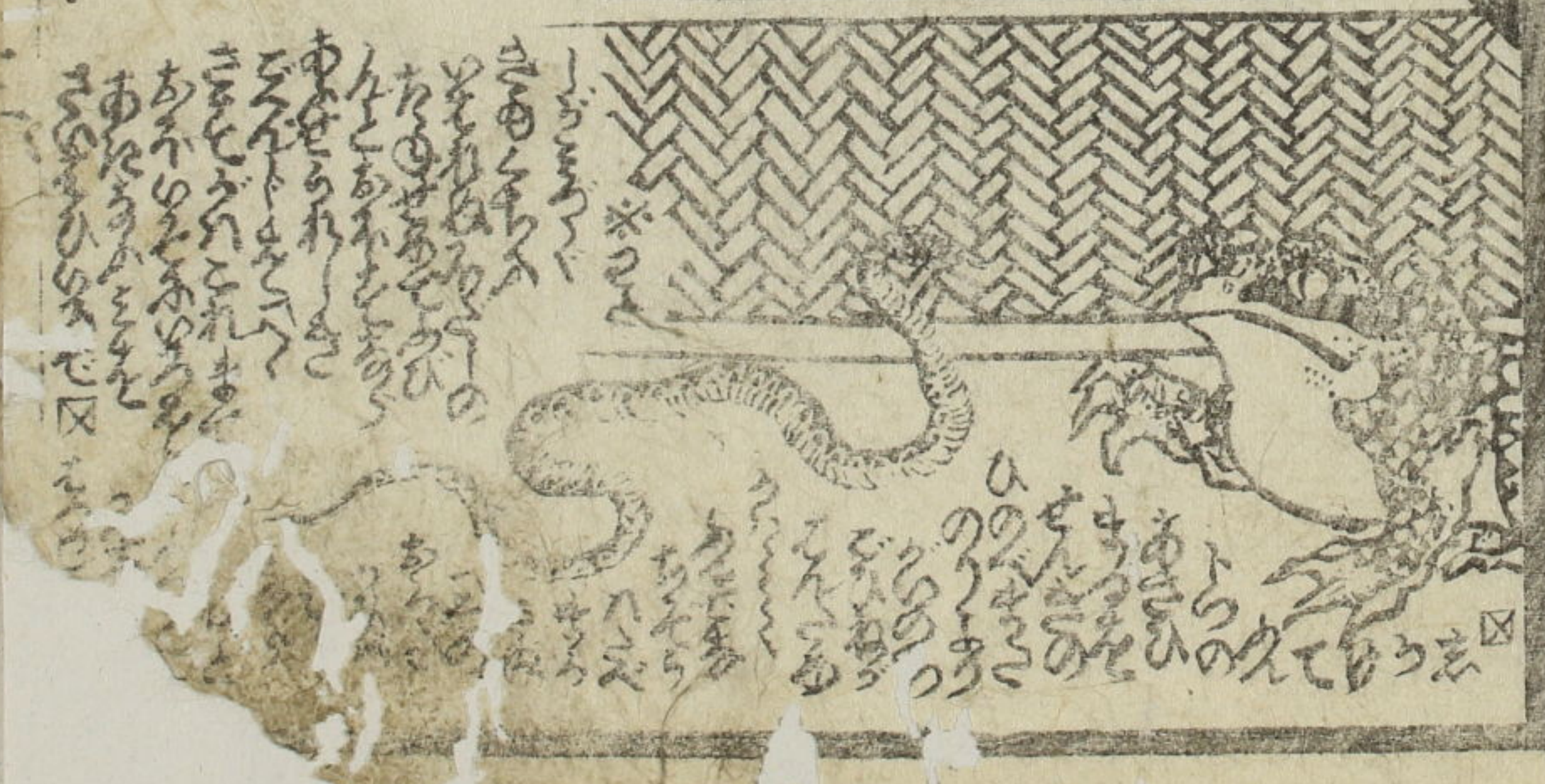




ひつりれまへんおのせうくさく  
こころあはれぬうさぎのこころ  
ままうへんおのせうくさく  
ひつりれまへんおのせうくさく  
こころあはれぬうさぎのこころ  
ままうへんおのせうくさく

あはれぬうさぎのこころ  
ままうへんおのせうくさく  
ひつりれまへんおのせうくさく  
こころあはれぬうさぎのこころ  
ままうへんおのせうくさく

あはれぬうさぎのこころ  
ままうへんおのせうくさく  
ひつりれまへんおのせうくさく  
こころあはれぬうさぎのこころ  
ままうへんおのせうくさく



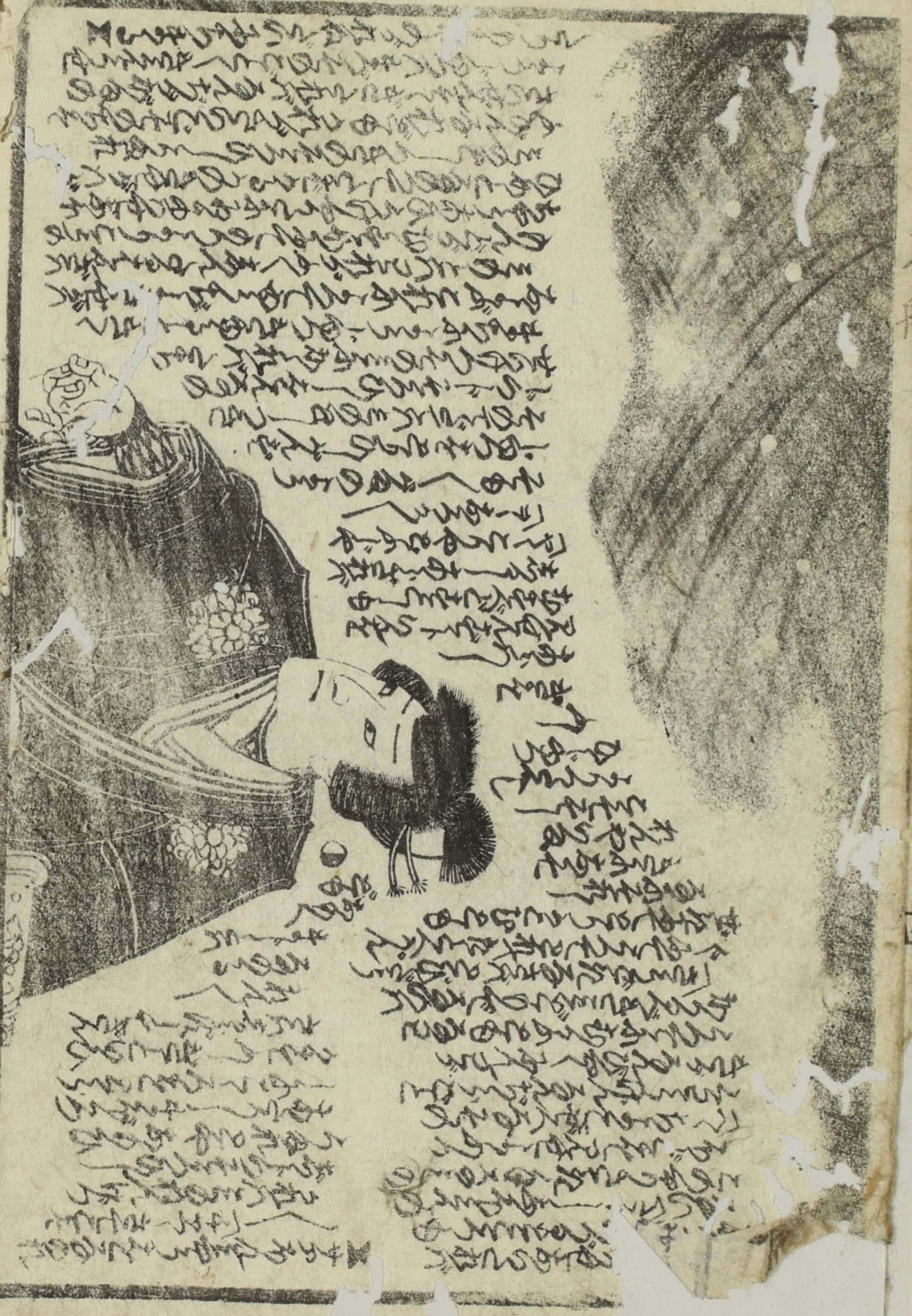
あはれぬうさぎのこころ  
ままうへんおのせうくさく  
ひつりれまへんおのせうくさく  
こころあはれぬうさぎのこころ  
ままうへんおのせうくさく

あはれぬうさぎのこころ  
ままうへんおのせうくさく  
ひつりれまへんおのせうくさく  
こころあはれぬうさぎのこころ  
ままうへんおのせうくさく

あはれぬうさぎのこころ  
ままうへんおのせうくさく  
ひつりれまへんおのせうくさく  
こころあはれぬうさぎのこころ  
ままうへんおのせうくさく



















三の巻  
 五ノ巻  
 六ノ巻  
 七ノ巻  
 八ノ巻  
 九ノ巻  
 十ノ巻  
 十一ノ巻  
 十二ノ巻  
 十三ノ巻  
 十四ノ巻  
 十五ノ巻  
 十六ノ巻  
 十七ノ巻  
 十八ノ巻  
 十九ノ巻  
 二十ノ巻  
 二十一ノ巻  
 二十二ノ巻  
 二十三ノ巻  
 二十四ノ巻  
 二十五ノ巻  
 二十六ノ巻  
 二十七ノ巻  
 二十八ノ巻  
 二十九ノ巻  
 三十ノ巻  
 三十一ノ巻  
 三十二ノ巻  
 三十三ノ巻  
 三十四ノ巻  
 三十五ノ巻  
 三十六ノ巻  
 三十七ノ巻  
 三十八ノ巻  
 三十九ノ巻  
 四十ノ巻  
 四十一ノ巻  
 四十二ノ巻  
 四十三ノ巻  
 四十四ノ巻  
 四十五ノ巻  
 四十六ノ巻  
 四十七ノ巻  
 四十八ノ巻  
 四十九ノ巻  
 五十ノ巻



五ノ巻  
 六ノ巻  
 七ノ巻  
 八ノ巻  
 九ノ巻  
 十ノ巻  
 十一ノ巻  
 十二ノ巻  
 十三ノ巻  
 十四ノ巻  
 十五ノ巻  
 十六ノ巻  
 十七ノ巻  
 十八ノ巻  
 十九ノ巻  
 二十ノ巻  
 二十一ノ巻  
 二十二ノ巻  
 二十三ノ巻  
 二十四ノ巻  
 二十五ノ巻  
 二十六ノ巻  
 二十七ノ巻  
 二十八ノ巻  
 二十九ノ巻  
 三十ノ巻  
 三十一ノ巻  
 三十二ノ巻  
 三十三ノ巻  
 三十四ノ巻  
 三十五ノ巻  
 三十六ノ巻  
 三十七ノ巻  
 三十八ノ巻  
 三十九ノ巻  
 四十ノ巻  
 四十一ノ巻  
 四十二ノ巻  
 四十三ノ巻  
 四十四ノ巻  
 四十五ノ巻  
 四十六ノ巻  
 四十七ノ巻  
 四十八ノ巻  
 四十九ノ巻  
 五十ノ巻















あつたてまつて  
うらやまをいふ  
あつたてまつて  
うらやまをいふ  
あつたてまつて  
うらやまをいふ  
あつたてまつて  
うらやまをいふ  
あつたてまつて  
うらやまをいふ

あつたてまつて  
うらやまをいふ  
あつたてまつて  
うらやまをいふ  
あつたてまつて  
うらやまをいふ  
あつたてまつて  
うらやまをいふ  
あつたてまつて  
うらやまをいふ



あつたてまつて  
うらやまをいふ  
あつたてまつて  
うらやまをいふ  
あつたてまつて  
うらやまをいふ  
あつたてまつて  
うらやまをいふ  
あつたてまつて  
うらやまをいふ

あつたてまつて  
うらやまをいふ  
あつたてまつて  
うらやまをいふ  
あつたてまつて  
うらやまをいふ  
あつたてまつて  
うらやまをいふ  
あつたてまつて  
うらやまをいふ







新板神史標目

旅雀秋好話 二上

種清綴 國貞画

歌討龜山噺 全丹

種清綴 國貞画

八重撫子累物語 月日

仙果編 國貞画

榮花譚 同

仙果作 國輝画

花菱梅雅物語 月日

西馬録 國清画

松浦船水掉嬢 二上

同作 國芳画

春柳錦花皿 月日

一九文賦 芳綱画

聞得名代酒店 前後

同作 國輝画

名高對男 全二丹

種清綴 國貞画

連理翅山雜奇縁 二上

西馬録 芳綱画

地本草帝問屋

十南傳馬丁壹甲丁日東則

紅英堂 葛屋吉藏梓



